

農業用ハウスでの暖房機使用の際は ご注意ください！

暖房機の不具合等で空気がうまく取り込めなくなると、不完全燃焼を起こして有毒ガスである一酸化炭素が発生します！

また、強い寒気が来た時に、ハウス内に家庭ストーブ等を持ち込む場合も、くれぐれも火災や一酸化炭素中毒に注意しましょう！

《一酸化炭素（CO）中毒とは》

一酸化炭素（CO）は色も臭いも無く、毒性が強い気体のため、ほんの少しでも吸い込んでしまうと気づかないうちに中毒になる危険性があります。

一酸化炭素（CO）中毒の最初の症状は風邪に似ていて、なかなか気づきにくく、次第に頭痛、吐き気がしてきて、手足がしびれて動けなくなり、重症化すると、人体に強い機能障害を起こしたり、意識不明になって死にいたることもあります。

事故を防ぐには

- 暖房機の日常点検や掃除を行い、警報ランプ等が点灯していないか、常に確認しましょう。
- 暖房機の吸気口の周辺に、資材等を放置しないようにしましょう。
- 積雪時には、排気口が閉塞しないように確認しましょう。
- 暖房機の異常（異音・異臭）を感じた場合は直ちに使用を中止し、電源を切り、販売店や設置業者に連絡をしましょう。
- ハウス内は密閉度が高いため、換気を行い、新鮮な空気を取り込みましょう。
- ハウス内に一酸化炭素警報器を設置しましょう。
- シーズン終了後に暖房機の販売店等に定期点検・整備を依頼しましょう。